

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第424号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2022年12月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

**第58回 建学祭「グローバル&イノベーション」開催**  
**高校吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール 金賞!**  
**高校サッカー部 全国高校サッカー選手権 Aブロック ベスト4!**

## 建学祭を終えて

建学祭実行委員長 3年3組 井出 亜梨沙

今回の建学祭から新しい取り組みが始まり、建学祭が大きく変わる年となりました。今年のテーマは「グローバル&イノベーション」と少し想像がつきにくいテーマでした。グローバルを意識して装飾を海外的なものにしていくクラスや、イノベーションを意識して未来的なことに重きを置いた出し物を披露しているクラスなど、各団体の工夫がこれまでよりも目に見えるものとなり、とても良い建学祭になりました。マスクに関する出店などは、今ならではのものになっていてとても面白かったです。

この建学祭の期間中は、クラスや部活動、各種委員会で想定外のトラブルや、友人の新たな一面を発見したりとさまざまなことがあったと思います。それらの出来事が今後の皆さんの学校生活で生かせるものとなったら嬉しいです。皆さんのおかげでとても良い建学祭にすることができました。ご協力ありがとうございました。

## 世界に、改革に彩りを

ポスター・パンフレットデザイン 3年10組 金子 鈴佳

今回は「グローバル&イノベーション」というテーマに加え、「輪」というスローガンもあり、それらをつなぐには非常に大変でした。幾つものデザインを考えるうちに、今までの建学祭でも珍しい今回のデザインにたどり着き、今まで人類に技術革新をもたらしたモノを描くことにしました。今回のデザインは自分でもなかなか描いたことのないタイプであり、さまざまな面で「改革」ができたのではないかな、と思います。「輪」というテーマについては輪っかに加えて、背景の七宝つなぎでイメージしました。グローバル感も、地球儀で表現しています。また、全体的に明るい印象になるように注意しています。

今回の絵は、高校生最後の集大成にもなりました。まだまだ拙いですが、今回のメインビジュアルとして選んでいただいたことに深く感謝申し上げます。皆様の思い出に少しでも彩りを残せたのなら、また、この建学祭を思い出すきっかけとなれば幸いです。



東海大学付属高輪台高等学校・中等部

## 門作りを経験して

宣伝・設営部門長 3年2組 榮野川 王雅

今年の建学祭は昨年度に比べてより多くの人にご来場いただくことができました。宣伝・設営部門では、準備日の2日間コロナ対策をしっかりつつ門作りに専念しました。門作りでは練りに練った設計図通りに作ることができました。しかし実際に門を作る上で釘が足りなくなるなどのハプニングがあり、少し時間を無駄にしてしまったところもありましたが、歴代の門と比べ、さらに今年は建学祭のテーマに沿ったより良い門を作ることができたのではないかと思います。僕たちが作った門をくぐってくださった保護者の方々、受験生、生徒の皆さんの思い出に残っていると嬉しいです。宣伝・設営部門のみんな、協力してくれてありがとうございました。



# 第58回 建学祭 「グローバル&イノベーション」開催!

## 2022年度 第16回 知財グランプリ結果

「知財グランプリ」は、生徒・保護者・教員の代表7名が高校のクラス展示や模擬店について、内容やメニュー・生徒の取り組み・装飾・ポスターの4つの観点から審査を行い、上位3団体とポスター部門1団体を表彰するものです。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、模擬店が中止となりました。限られた環境・時間の中ではありましたが、各団体が工夫を凝らした展示を行い、今年度の総合部門とポスター部門の優秀クラスが選出されました。



### ★グランプリ

#### 3-10「未来食堂塾」

昨年度の「〇〇〇〇(ダレカ)の実験室」に続いてのグランプリ受賞ですが、夏期休暇中に食品会社への取材を行い、そこで学んだことを来場者にプレゼンテーションするといった、他のクラスにはない試みが幅広い年代からの支持を集めました。内容・取り組み・装飾・ポスター、すべての点において優れた企画であり、また、今年度建学祭のテーマである「グローバル&イノベーション」とも合致した、まさに「知財グランプリ」の名にふさわしい出展でした。



### 1-4「レイをみんな作レイ」 ★最優秀ポスター賞

作：加部 友貴

ハワイをモチーフにした色鮮やかな作風で、ハイビスカスの美しさが引き立てられています。海の青さをさまざまな色調で描き分けていた点が高得点に結びついたようです。

### 2-4「世界にひとつだけ! Let's make ミサンガ」

作：河野 勇真

沈む夕日をバックに、ハワイの砂浜を描いた極彩色の風景画が印象的な作品でした。近くで見ると、細部まで丁寧に描き込まれていることがわかります。



Crash B(3年)ラストステージ!



Global sportsに挑戦中(1-1)



お客さんいっぱい来ました!(3-3)

マスクデコ〜「ZIP!」でも  
特集されました!(1-6)



真実の口…手を入れました?  
(1-7)



美術部

3学部合同学部説明会



バスボムつくり挑戦!(2-7)



お神輿完成!(3-8)



カフート(Kahoot!)でクイズを作りました(中3)



日本とハワイを融合させた  
ミサンガ作り  
(2-4)



意外と  
難しかった?!  
レイ作り(1-4)



### ★準グランプリ

#### 1-9「縁結び工房 吉祥屋」

クラスのみならず中華結びを練習して、誰でも接客することができるといった、来場者に対するホスピタリティを強く意識している様子が好印象でした。赤を基調にした中華風の装飾や看板、ポスターもクオリティーが高く、また統一感があって見事でした。



みんなでゴミ拾いして



それをチャーム作りの材料に!

### ★準グランプリ

#### 2-1「Marine Treasure」

クラスで都立葛西海浜公園へ行き、浜に流れている海洋プラスチックを拾い集めて、チャームの材料にするというサステナブルな企画内容が、特に教員・保護者から高く評価されました。海洋ゴミを組み合わせるマンタを描いたメッセージ性の高いポスターも秀逸でした。

# 2023年度東海大学付属学校推薦型選抜 464名が合格 おめでとう

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力の育成を教育目標に掲げています。この4つの力を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。

ご存知の通り、本学は23学部62学科・専攻をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、来年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2022年12月1日(木)に東海大学付属学校推薦型選抜の合格発表がありました。これで、4月の学園基礎学力定着度試験から始まり、児童教育学科、芸術学科、医学科、看護学科、航空操縦学専攻の適性審査を経て、11月の学園高大連携総合試験ならびに小論文試験などすべての試験が終了し、半年強にわたった一連の付属学校推薦型選抜も終了しました。2023年度は464名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の89.4%に相当します。

合格した生徒は、大学指定の入学前学習に取り組みつつ、入学までに各自で必要な学力を付けておくようによろしく。

右に2023年度の合格者の状況を紹介いたします。



### ●東海大学進学者

合格先	合格者数
国際学部	17名
経営学部	39名
観光学部	19名
情報通信学部	14名
政治経済学部	41名
法学部	23名
文学部	31名
文化社会学部	49名
教養学部	17名
児童教育学部	12名
体育学部	14名
健康学部	24名
理学部	5名
情報理工学部	31名
建築都市学部	21名
工学部	71名
医学部	10名
人文学部	1名
海洋学部	11名
文理融合学部	1名
農学部	2名
国際文化学部	4名
生物学部	2名

### ●東海大学短期大学進学者

合格先	合格者数
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	5名

# SSH活動報告

## さくらサイエンスプログラム

「さくらサイエンスプログラム」は、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)が推進するプログラムの1つで、科学技術に興味をもつ海外の学生を日本に招聘して、日本の学生や研究者との交流をはかる取り組みです。今年度、本校はこのプログラムの受け入れ先として選ばれました。10月20日のプログラム当日はブータン・カンボジア・フィリピンから9名の高校生と6名の教員が来校され、SSHクラスの授業体験を通して本校生徒と交流しました。

### サイエンスは万国共通

1年10組 山下 啓樹

私たちは紙の形と強度の関係について調べる実験をしました。実験では、いろいろな形の柱を紙で作り、立てた柱の上におもりを置きました。徐々におもりを重くして、その筒がどこまでの重さに耐えられるかで強度を調べました。つぶれないようにそっとおもりを置いてみたり、筒がつぶれてしまった時は「あー」と声をあげたり、ジェンガのようなボードゲームをやるように盛り上がりました。言語の異なる生徒と一緒に実験を行っても、同じ結果を共有することができました。私はこの実験を通じて、同じ結果を得られたこと、共感できたことから、サイエンスは万国共通であると感じました。また外国を少し身近に感じることができ、貴重な体験ができました。

### 積極的に会話する勇氣

2年10組 高山 ひかり

私たち2年生は、数学Bの授業を海外の高校生と一緒に受けました。出された数学課題について、グループごとに海外の高校生たちとディスカッションしながら考えました。授業の中では、問題や解説の意味を理解することが大変でした。また、英語を使っている会話や、相手の言葉を聞き取ることが難しく、自分の英語能力がまだまだ未熟であることを思い知らされました。しかし、つたない英語でも意外と伝わる事が多く、また相手も私たちに積極的に話しかけてくれて、最後の方には仲良くなることができました。今回のイベントで交流に必要なものは文法や単語だけでなく、積極的に会話をしようとする勇氣や意欲だと学ぶことができました。

### 交流を通して学んだこと

3年10組 和泉 真一

私たち3年10組は、ブータン、カンボジア、フィリピンの高校生たちと共に公共科学演習の授業に取り組みました。授業の最初の時間では緊張してしまい、何を話せばいいのかわらなくなってしまうこともありましたが、徐々に会話を交わしていくうちに趣味などの話題で会話をすることができるようになりました。今回大きく学べたことは、英語が完璧でなくとも、とにかく会話をし、ジェスチャーなどを付けることによって相手に自分の意図を伝えることができるということです。例えば「高い」や「低い」などは発音が悪くともジェスチャーを付けばすぐに伝わります。この経験は、今までの教室での英語の学習を、実践的な英語に昇華させる良い経験になりました。最後は手を振って別れることができ、とても心温まるひとときでした。



海外の高校生たちと充実した交流ができました!(3年)



数学の課題について海外の生徒とディスカッション(2年)



どの形の紙の柱が一番強いグループで予想を立てる(1年)

# 2022年度学校運営方針

## 実践目標

### 情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、教職員・生徒の情報教育の推進を図る

本校では、BYODシステムを採用して、全校生徒が自分のタブレットPCを持った状態で教育活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で登校できない生徒たちもオンラインを活用することによって、学びの機会を失うことなく授業を受けることができます。

授業では、タブレットPCを活用して、自分の考えをまとめ、グループで共有整理して、それを全体発表するなど自分の考えを発信する場面を多く取り入れています。学校全体の取り組みとして、高校1年生の「高校現代文明論」、2年生、3年生で履修する「探究活動I」「探究活動II」の授業で自分でテーマを設定して、情報を集め、調査・考察して、それらをまとめ発表することを通して、情報を活用する力、発信する力の育成に力を入れています。

また、情報社会において、SNSの活用は当たり前ものになっており、子どもたちは社会に出たときにSNSを有効に活用する力を身につけておく必要があります。こうした考えのもと、本校では今年度から生徒のSNS利用を認めています。しかし、SNSは使い方を誤ると他人を傷つけたり、自分の将来に取返しのつかない傷を残すこともあります。学校では、配信内容・公開範囲などに十分注意しながら、有効に活用するよう指導を行ってまいりますので、ご家庭でもご指導にご協力をお願いいたします。

## 部・同好会活動報告

中等部  
吹奏楽部

### 第22回 東日本学校吹奏楽大会 金賞受賞

#### 成果を出し切ったコンクール

中等部吹奏楽部部长 3年A組 加藤 和奏

私たち中等部吹奏楽部は、10月8日に府中の森芸術劇場で行われた、第22回東日本学校吹奏楽大会に東京都代表として出場し、金賞をいただくことができました。部員一同、この金賞を受賞することを目標に、練習を重ねてきました。また、このような結果を残すことができたのも、皆様のご声援のおかげです。

コンクールの当日は初めて他校の演奏を聴き、圧倒され不安や緊張が私たちに広がりました。しかし、自分たちの演奏が始まると、そのような気持ちも忘れ、楽しく演奏することができました。結果発表の瞬間は、心臓が今にも口から出てきそうなくらいドキドキしていました。結果はゴールド金賞。喜びと涙があふれ出てきました。嬉しさで胸がいっぱいになり、最高の仲間と最高の経験をすることができました。

私たち3年生は今年で引退をし、来年は新しい代が築かれます。私たちが持っている力をすべて後輩に引き継ぎ、来年もコンクールで最高のパフォーマンスをします。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。



高校  
吹奏楽部

### 第70回 全日本吹奏楽コンクール 金賞受賞

#### 夢のような12分間

高校吹奏楽部部长 3年4組 小泉 菜々子

私たち吹奏楽部は、10月23日に行われた全日本吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞することができました。コロナ禍でさまざまなことが制限され、たくさんの困難がありましたが、乗り越えて夢の舞台まで辿り着くことができました。

本番は最高な12分間でした。「ゴールド金賞」と言われた時の感情は今でも忘れられません。みんなとやってきて本当によかったと改めて思いました。言葉では表し切れないほど、心からの感謝の気持ちでいっぱいです。

このような結果を得ることができたのは、片桐校長先生をはじめとする高輪台の先生方、講師の先生方、保護者の皆様、クラスの友達や部員のみのおかげです。たくさんの応援、ご支援をありがとうございました。応援くださった皆様に感謝して、1年間の集大成である定期演奏会に向けて今頑張っています。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



# 部・同好会活動報告

高校  
サッカー部

## 全国高校サッカー選手権大会 東京都予選Aブロック ベスト4!

### 充実した3年間

3年5組 村井 彩花

11月5日に西が丘で行われた準決勝の舞台で、私たち3年生にとって最後の選手権が終わりました。入部当初から目標にしてきた「東京都No.1」を叶えることができず、悔しい終わり方になってしまいましたが、コロナ禍でありながら全校応援をしていただくことができたことや、たくさんの保護者の方々やOB・OGの方々などの高輪台サポーターの方々に注目され、見守られながら試合をすることができたことが本当に幸せでした。

私たちマネージャーの役割は、「チームが勝つために、先生やコーチと同じ立場に立って選手たちを動かす」ことでした。選手一人ひとり性格も違えば考え方も違う、そんな中で多くの選手たち全員に伝わるように的確な指示を出す。時には反感を買うこともあるし、うまくいかないことも多く、責任を全うすることは簡単なことではなかったけれど、日々選手たちのいろいろな表情を近くで見ることができた3年間は、とても充実していて楽しかったです。本当にありがとうございました。

### 胸を張れる、価値ある高校サッカーライフ

3年4組 向井 蓮華

先日はサッカー部の全校応援、ありがとうございました。高校3年間の中で、皆さんに会場で見ていただき、応援していただきながらの試合ができたこと、そんな機会をつくれたこと、本当に感謝しています。

私の高校3年間は、私が思い描いていた“理想の女子高生”の生活とは全く違い、正直、つらいこともたくさんありました。けれど、川島先生も言ってくださいましたが、高輪台サッカー部として過ごしてきた3年間、それはほとんどの女子高生は経験することのできない「価値あるもの」であり、本当に胸を張れる経験です。

西が丘に行けたこと、全校応援をしてもらったこと、たくさんの人に私たちのサッカーを見ていただけたこと、本当によかったし嬉しいです。先生方や生徒の皆さん、保護者の皆さん、西が丘まで見に来て、応援してください、いろいろな場面で協力していただき、本当にありがとうございました。

そしてサッカー部のみんな。本当に悔しいけれど、西が丘まで行けて本当によかった。ここまでこられてよかった。最高の思い出を、ありがとう。

### 「より良い景色」が見える場所へ

2年7組 早稲田 淳平

先日は、全校応援に来ていただいて、ありがとうございました。皆さんのおかげで、チーム、学校が一丸となって戦えました。西が丘でプレーをしてみて、いろんな人に見られながらやるのは楽しかったし、いつもよりも力が出せました。いいプレーが出た時や、ゴールが入った瞬間の歓声、拍手で盛り上げてくれたことが印象に残っています。また、色画用紙の黄色と黒色を使って高輪台カラーを作ってくれたおかげで、最後まで「みんな」で戦うことができました。

本当なら、西が丘で勝って、決勝に進み、全国大会出場を決め、もっと3年生とサッカーができる日々を過ごしたかったのですが、残念ながら負けてしまいました。自分自身は来年もあるので、この悔しさや3年生への感謝を忘れずに、これから1年間全力で練習、試合に取り組んで、またこのピッチに帰って来たいと思います。そして次は、みんなと「より良い景色」が見えるように頑張ります。

高輪台サッカー部を、これからも応援をよろしくお願いします。



高校  
陸上競技部

## 山田南さん U18日本選手権 女子三段跳 第22位

### U18日本選手権を終えて

1年5組 山田 南

U18日本選手権を終えて、私は日々の親の支えや部員の応援が、いかに自分の心の支えになるのかを実感しました。私は全国の舞台に少し緊張はありましたが、先生方、家族をはじめ部員の皆の応援があり、堂々とピットに立つことができました。高校に入って初の全国の舞台だったので、自分の中で価値のあるものになりたいという気持ちがありましたが、結果はあまり納得のいくものではありませんでした。同学年でも全国の舞台で決勝に残る選手や全国優勝をする選手もいます。とても悔しいですが、でも1年生でこのような大会に出場できたことは、とてもいい経験になりました。先生方、家族、そして部員の皆、応援をありがとうございました。



## 「第71回 はたらく消防の写生会」授賞式

第71回はたらく消防の写生会に中等部1年生が参加しました。昨年度から、東京消防庁ホームページに掲載されている消防車両、消防艇、消防活動二輪車等の写真から自分の気に入ったものを選んで描くというスタイルになりました。皆それぞれに自分で選んだものをどのように画面に収めるか、被写体の角度や遠近感はどうすれば表せるのかと工夫して描いていました。入選した6人には、自分で描いた絵の缶バッジがプレゼントされ、喜んでいました。今回は、優秀賞の2人の作品を紹介します。

### ❖優秀賞

- A組 坪井 優龍
- A組 福元 伶奈

### ❖入選

- A組 佐藤 壮一郎
- A組 中山 雄翔
- B組 内野 萌歩
- B組 野村 紅葉



後列左から、野村君、内野さん、佐藤君、中山君  
前列左:福元さん、右:坪井君



坪井君の絵



福元さんの絵

# 学年だより 中1

## 建学祭 ～世界の発明品を初! プレゼンテーション～

中等部1年生にとって、初めてとなる建学祭。今年度のテーマに沿って世界の発明品について、その発明家になりきって、プレゼンテーションをしました。スライド作成からプレゼンテーションの仕方、多くのことを学ぶ機会となりました。ご来場いただいた方と発表を聞いた1年生の投票から、優秀賞・特別賞に選ばれた6人の感想を紹介します。

後列左から岡田君、早見君、山入端君  
前列左から小川さん、齋藤君、中村さん



### 【優秀賞】

#### 心に残った建学祭

A組 山入端 輝

僕は、初めての建学祭でプレゼンテーションに取り組みました。事前に自分がいかにうまくプレゼンテーションできるか考えました。僕は、まず声の大きさを皆に伝えやすいように調節することを頑張りました。そうすると自然と声が出るようになってきました。その次に、アイコンタクトを意識しました。聞いてくれている人と目を合わせて話すことを意識すると、発表がうまくできました。

僕はこの建学祭を忘れないと思います。なぜなら、これから社会人になって必要となるプレゼンテーションの技術を、この建学祭で培うことができたからです。とても心に残った一日でした。

#### 楽しい建学祭

A組 小川 葵衣里

建学祭の準備は発表の練習をしました。緊張してしまっただけで、商品の良さはしっかりと伝えられました。私の発表で、「ヘルシオホットクック」に少しでも興味を持ってくれたら嬉しいです。みんなの発明品の良さや、これからの進化がよくわかり、聞いている側もとても楽しく、ワクワクしながら聞きました。

本番では、少し緊張してしまっただけで、聞いてくれている人の目を見ながら、発明品の良さをしっかりと伝えられたと思います。

みんなの発表を聞いたり、自分の発表を聞いてもらったり、あまりやったことのないことばかりでとても楽しかったです。

#### 緊張からの建学祭

A組 早見 幸太

私は司会をやりました。司会は意外と緊張します。そのせいか初めは言葉をかんでしまっただけで、大きい声で言うことによって緊張がほぐれていったので、逆によかったです。

そしていざ自分の発表の時、動きを入れた方が緊張をほぐしやすいとも、見ている人にもより伝わりやすくなると思ったので、その点に気をつけて発表してみました。

スライドには、少し面白いスライドを入れて発表の方が、聞き手も興味を持って発表を聞いてくれると思ったので、やってみました。また、あえて「テッポウ」をひらがなで書いてみました。反響はとても良かったので、スライドに入れて正解だったと思いました。みんなに笑ってもらえたのでよかったです。

#### プレゼンを終えて

A組 岡田 悠希

中1は建学祭ではプレゼンをやりました。今回は「開発者になりきってプレゼンをする」というのが課題でした。私は、ニンテンドーWiiの企画・開発者の一人、玉樹真一郎さんになりきってプレゼンをしました。

ゲーム機について発表したいと初めから決めていましたが、他の人とかぶらないように、あえてWiiについて発表することにしました。

プレゼンをやってみた感想は、緊張もしましたが楽しかったです。もともとスライドをつくるのが好きだったこともありです。

2年生になると、実際の企業の方も来られると聞いたので、今から楽しみにしています。

#### 緊張した建学祭

B組 中村 日鞠

私は、人生初めての建学祭をとっても楽しみにしていました。夏休みの宿題に建学祭のスライドを作る宿題があり、とても悩みました。まず、題名に悩みました。発表ではまず最初に題名を言うので、興味を引く題名にしないといけないと石川先生が言っていたのを思い出して、私は「ココロ」を発表すると決めていたので、ココロを言い換えるような題名にしようと思い、ココロの名前を出さず、「忙しくて、一瞬できれいになる、お掃除用具」という題名にしました。

次に悩んだのは、どうココロの良さを伝えるかどうかです。私は、ココロの良さを伝えるために、他の掃除用具と比べて発表したり、ココロは花粉対策になることなど、興味を引く資料を調べたりもしました。

そして、一番の壁は発表をする時でした。私は、人前に出て発表をする時に早口になってしまい、それに加え原稿ばかり見てしまい、相手の目を見て発表ができませんでした。だから、来年はこの反省を活かして発表したいと思います。

### 【特別賞】

#### 初めての建学祭

B組 齋藤 光

初めての建学祭で、中等部1年生の発表のテーマは世界の発明品になりました。自分の発表するもの内容は、時計にしました。自分が発表する上で特に工夫したことは、まず、写真や絵を入れてスライドの内容をわかりやすくしたこと。また話す時は動きを入れて画面ばかり見ないようにしたり、内容が単調にならないように気をつけました。それだけでなく、紹介するものの良い点と悪い点を分けて紹介することで、話に集中してもらえるようにしました。しかし、発表後に振り返ってみると、まだまだ話すこととスライドに書いておくことが別になっていなかったり、早口になってしまったことで時間が余ってしまったりと改善すべき点があったので、それらも改善していけるようにしていきたいです。

# 学年だより 中2

## 企業連携の建学祭を通して

中等部2学年の建学祭は「イノベーション・プランニング」と題し、4社の企業様からいただいたミッションを基に生徒が商品(サービス)開発を提案しました。その後も道德の授業やSSHの成果報告会で発表するなど、さまざまな経験をした生徒たちの様子をご覧ください。

### 株式会社ローソン

#### Mission

あなたのマチの「ほっと」を生み出す、ローソンの新しい取り組みを提案せよ。

#### 「建学祭で感じたこと」

A組 大和 凌(前払いサービス)

自分はローソンの新たなサービスを考えました。班で「前払い」というものを提案し、ローソンの方から意見をいただき、とても勉強になりました。普段、新しいサービスや商品を考えることはないけれど、建学祭を機にやってみるととても楽しかったです。自分たちで不便なところを考え、その対策法として新しいサービスを考えました。



LAWSONさんの講評

### ブックオフ グループホールディングス株式会社

#### Mission

多くの人に楽しく豊かな生活を提供する、ブックオフの「リユース」を身近に感じられるような方法を提案せよ。

#### 「企画提案の難しさ」

B組 仲井 央輔(Reuse on SNS)

企業の方の話を聞いていると、会社の中にいろいろな思いが詰まっていることがわかりました。その思いを何とか企画提案に入れようと思いました。その分時間はかかりましたが、いい企画提案ができたと思います。



BOOKOFFチーム集合

### 株式会社丸善 ジュンク堂書店(EHONS)

#### Mission

「想像の世界」が広がる、ここでしか手にできないEHONSの商品を開発せよ。

#### 「理解してもらったまで長かった準備」

B組 橋本 敬瞳(そら豆くんのペーパーシアター)

僕は建学祭2日目には部活動の大会があったので参加できませんでしたが、その分準備を頑張りました。スライドは土井君が作ってくれたので、原稿を作りました。もともと文章を作ることが苦手なので、OKが出るまで何回も書き直しました。最終的に言いたいことが伝わる文章になったのでよかったです。



「ぐりとぐら」のフライパンをプレゼン

### コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

#### Mission

コカ・コーラボトラーズジャパンにしかできないリサイクルを使ったすべての人に、「ハッピー」を届ける方法を提案せよ。

#### 「建学祭で頑張ったこと」

A組 海野 聖吏奈(リサイクルキャンプ場)

私は、この建学祭で発表の時に全員に聞こえて、わかりやすい話し方をするのを頑張りました。発表の前日に台本を考え、大きな声を出す練習をしました。そのおかげで本番ではうまくいったと思います。今年の建学祭は、貴重な体験をすることができ、とても楽しかったです。来年の建学祭も頑張ろうと思います。



コカ・コーラさんのタオルを配ってます



SSH成果報告会頑張ります



企業の方の前で堂々と発表



片桐校長から賞状をいただきました!

# 学年だより 中3



## 建学祭 ～学校紹介～

10月8日・9日の第58回建学祭では、多くの人に自分たちの学校を知ってもらうため、クイズ形式での発表を行いました。限られた時間での準備期間でしたが、学年を通して試行錯誤を重ね、連携しながら建学祭当日の発表に臨んだようです。建学祭当日の生徒たちの様子をご覧ください。

### 共同作業を通して

#### A組 小高大輝

共同作業をする上で重要なことは、役割分担をすることや班と連携することだと思います。なぜなら、各自で役割を分けることで作業を効率的に行うことができるからです。

建学祭ではクラスや学年で一致団結して、お客さんに楽しんでもらうための準備をします。その際、一人ひとりが何をするかという役割を決めることによって、自分が何をすべきか把握でき、予測や余裕を持って準備を進めることができます。また、いろいろな情報をあらかじめ共有することも大事です。

建学祭当日は、シフトの連携がうまくいかず、仕事分担に偏りが出てしまいましたが、共同作業の難しさを身に染みて感じることができました。今回の建学祭に関わらず、今後も数々の場面で共同作業が必要になると思います。その時は、この経験を通してうまくいったことは継続しつつ、失敗から学んだことを改善できればいいなと思いました。

### 他者への感謝

#### B組 色川春花

昨年、私は建学祭のクラス運営を仕切っていました。しかし、自分のやりたいことと実際の進捗の差はどんどん広がっていきばかりでした。思い悩んでいた時、「自分のやりたいことは自分でしかできないし、やってくれた人に感謝しなきゃ誰もついてこないよ」と言われ、ハッとしました。確かに私は理想を追い求めすぎて、他者への配慮を忘れていたと、その時実感しました。

今年は友達にさまざまな役割を分担してもらい、それに取り組んでくれた人たちに感謝の意を必ず伝えました。限られた時間でしたが、準備期間を含め建学祭4日間を何とか過ごすことができました。昨年度とは違って大きな壁にもぶち当たりましたが、みんなの協力によって、昨年より、より良いものができたと思います。

高校生になると、会計報告も自分たちで担います。その時も感謝の気持ちを忘れず、みんなに支えられていることを自覚し、責任を持って取り組んでいきたいです。



# 学年だより 高1

## 建学祭 ～高輪かるた～

高校1年生は、建学祭で学年委員を中心に「高輪かるた」を展示しました。高輪台の良いところを紹介するために、イラスト・文章を生徒たちが一生懸命考え作成しました。来場者の投票によって選ばれた優秀作品をぜひご覧ください。

### 副学年委員長 5組 串橋 颯来

高校1学年では「高輪かるた」を出店しました。入学してから僕たちは、この学校の良いところを数多く見つけました。そこで、今までの経験を活かして、さらに高輪台の魅力に気づいてほしいと思い、この企画を提案しました。この企画を通して、改めてこの高輪台の良さについて実感することができました。高輪台の良さをさまざまな人に伝えることができたと思うので、とてもよかったです。



「う」7組 「く」5組 「ち」2組 「み」3組

### 7組 鄭苗

イラスト部門最優秀賞を受賞して、とても嬉しく思いました。「高輪かるた」の案を考えている時、高輪のもっとも魅力的なことはやはり、食堂ではないかと思いました。毎日異なる種類の弁当があり、味もとても良いです。特に定番のカレーライスや鶏唐揚げ弁当はおいしく、このおいしさを受験生や保護者などにも伝えたくて、「高輪かるた」に描きました。また機会があれば絵を通して、高輪台の魅力をいろんな人に伝えていきたいです。

### 文章部門

- 最優秀賞 「ふ」10組 「部活動 得られるものは 一生の友」
- 優秀賞 「は」6組 「なりたいな 将来の夢 かなう場所」
- 「も」3組 「最寄り駅 三つもあるよ 便利だね」

### 10組 萩森 光希

文章部門最優秀賞を受賞できたことをとても嬉しく思います。みんなと共に考え、意見を出し合ったことがこういった形で評価してもらえたのは、クラスにとって自信にもなったと思います。また、他のクラスに負けないような文を編み出す過程で、仲間と共に考えを深めた経験はこの先の学校生活やSSH活動でも十分に活かせるものだったと思うので、自分にとってクラスにとっても、とてもいい機会だったなと感じています。

# 学年だより 高2

## 建学祭を振り返って

今年度も多くの制限がある中で建学祭が開催されました。各クラスの生徒たちの感想を紹介します。

### 1組

Marine Treasure

木野 紅蓮



今年も限られた中で行われた建学祭でしたが、私のクラスは事前準備で海にゴミ拾いに出掛けたり、クラスの手伝いに参加できない吹奏楽部員がBGMを録音してくれたり、クラス全体が協力し合い、楽しむことができました。また、難しいテーマでしたが、知財準グランプリを取ることができて嬉しかったです。

### 2組

ボードゲーム

山下 卓文



派手な賑わいを見せた建学祭は、私にとって本当に充実したイベントでした。一括りに何かを学び、何かを感じたというにはあまりにも言葉が足りなくて、同級生の意外な側面を垣間見たり、老若男女のお客さんから面白い経験を聞いたり、そのどれも新鮮でかけがえのないものになりました。

### 3組

~Let's Wash~  
しずかちゃんの家

八木澤 遥香



準備期間前から、クラスで協力し本番に向けて準備に励むことができました。当日は全員がお客さんに楽しんでもらえるように活動できました。大盛況だったため、材料が足りなくなるほどでした。建学祭でクラス全員が協力することで仲が深まったと思います。

### 4組

hawaiian amulet  
keychain

野澤 菜月



4組はハワイを象徴とするモンステラの葉と日本の編み方の2種類のミサンガを出店しました。教室の装飾を細かいところまで工夫し、ハワイを味わえる空間を演出しました。クラスみんなで協力し当日を迎えられ、たくさんの方が来てくださり、とても楽しい2日間となりました。

### 5組

dream catcher  
NICO

黒崎 寧央



今回の建学祭は、準備期間では協力して装飾やドリームキャッチャーを作りました。開催日にはお客さんに手作り体験を楽しんでいただくことができ、クラスの皆の良いところを見ることができました。来年はクラスの協力を深め、より良い物を作れるよう、頑張りたいです。

### 6組

あわわワールド

黒田 莉穂



準備期間にやる事が多く大変でしたが、仲間や担任の先生の協力で無事に成功させることができました。クラス委員としてまとめるのは一苦労でしたが、とても良い経験ができました。来年度は、早くから企画をしてきてよかったと思ってもらえるような建学祭にしたいです。

### 7組

バブルランド  
~心と体をリラックス~

長岡 誠之介



私たちのクラスは、たくさんの意見からバスボム作りを決めた。各担当に分け、意見を出し合い、スムーズに準備を進めることができました。しかし当日は午前中に材料がなくなってしまうなど、想定外のことが起きたので、来年は計画を精密に練って当日を迎え、心に残る建学祭にしたい。

### 8組

あつまれマキ族の森

神前 尚哉



たくさんのお客さんにプラバン作りを楽しんでもらい、当日は作業が追いつかないほど好評でした。男女問わず仲が良く、お互い声を掛け合える8組だからこそ成功したのだと思います。助け合いの精神で切磋琢磨して働き、やりがいを感じました。来年もクラスで協力し、楽しみたいです。

### 9組

世界の緑日

中村 飛水



私たちは世界の緑日について説明と体験を行いました。ポルトガル・アゲダの傘祭りを教室のコンセプトにし、カラフルな傘を天井いっぱい吊るして、教室にいても楽しめるような空間に仕上げました。そうしたことによって、制限のある中でもお客さんとクラスの皆が楽しめていたと思います。クラスの団結力も高まり、次の行事が楽しみです。

### 10組

実験教室

桐敷 尚徳



私たちのクラスは4グループに分かれ、それぞれ実験を行いました。私のグループは過酸化水素水の分解という、ヨウ化カリウムを触媒とし大量の泡を発生させる実験をしました。実験を見せるのではなく、実験で使った物質が社会でどのような用途で使われているのかなども伝えることができ、Global Innovationにつなげることができたと思います。

# 学年だより 高3

## 趣向を凝らした建学祭

3年生にとっては最後の建学祭が、10月8日(土)・9日(日)に開催されました。社会状況を考慮し今年度も模擬店はできませんでしたが、「グローバル&イノベーション」という学校テーマのもと、各クラス趣向を凝らした展示を行いました。

## 知財グランプリ受賞 3年10組



### 建学祭2年連続グランプリ受賞を振り返って 小倉 丈

先日行われた建学祭で、ありがたいことに2年連続グランプリをいただくことができました。今回は前回と違い「グローバル&イノベーション」という学校全体のテーマがあったので、クラスのテーマを決めるのに時間がかかりました。しかし、SSH特有の優れた知識と発想力を生かし、代替食品をテーマに塾を作り、内装外装ともにこった仕上がりにすることができました。この賞が取れたのは、クラスのみんなと担任の和氣先生が力を合わせた努力の結晶であると思います。

### クラスで作った建学祭

柳澤 孝太

最も苦労した点は外装の装飾と壁一面の貼り絵で、あまりにも大変でみんなイライラが募ることもありましたが、一度もけんかを起こすことなく終われたことに、クラスの絆を感じることができました。クラス全体で力を合わせて作り上げ、みんなで青春を感じることができ、とても嬉しかったです。

## ~各クラスの展示紹介~

展示名	出展内容
1組 八巻おじさんのプラバン工房	プラバン作り
2組 中山工務店	エコバックの作成
3組 君の名は。	ネームプレートの作成
4組 フランス展	フランス・世界遺産を学べる美術館
5組 せっけん作り	ローマ発祥のせっけんを学びながら作成する
6組 スノードーム	スノードーム作り
7組 ミサンガキーホルダー作り	ミサンガをキーホルダーとして作る
8組 神輿 ~日本の伝統と世界の遺産を繋ぐ~	オリジナル神輿の展示
9組 ジェルキャンドル	ジェルキャンドルの製作体験
10組 未来食堂塾	食糧問題を題材として生徒が模擬授業を行う



# お知らせ

## 高校3年生特別講座開始

自ら学び、探究しようとする姿勢を大切に!!

期間 **12月6日(火)～1月31日(火)**

## 吹奏楽部 定期演奏会

**中等部**  
(第14回)

日時:12月28日(水) 13時30分開場 14時00分開演  
会場:赤坂区民センター区民ホール(地下鉄赤坂見附駅下車、青山一丁目駅下車徒歩10分)  
入場料:無料(入場券事前配布:詳細は顧問新井または吹奏楽部員まで)

**高校**  
(第33回)

日時:1月6日(金) 昼公演:12時00分開場・13時00分開演  
夜公演:17時00分開場・18時00分開演  
会場:横浜みなとみらいホール 大ホール  
(みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分)  
入場料:A席 2,500円 B席 2,000円 C席 1,500円(全席指定)

### 行事予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

## December 12月

## January 1月

- 1日(木) AM:スポーツ大会・PM:キャリア教育(中等部) 付属推薦合格発表(高3)
- 2日(金) 校外活動(中等部) 後期中間試験(高1・2)・卒業試験(高3) (11月29日～12月2日)
- 3日(土) 東海大学湘南校舎見学研修会(保護者対象)
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(高校)
- 5日(月) 朝礼 短縮授業 答案返却日(高3)
- 6日(火) **特別講座開始(高3)**
- 10日(土) GTEC受検日②(高校) 保護者会(中3)
- 11日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(中等部)
- 12日(月) 2時限授業 後期中間試験答案返却(3時限以降)(中等部・高1・2)
- 13日(火) 校医相談日
- 15日(木) 高校入試相談日(生徒自宅学習日)
- 16日(金) 高校入試相談日(生徒自宅学習日)
- 17日(土) 付属推薦入学試験合格者説明会(湘南校舎他)
- 18日(日) 付属推薦入学試験合格者説明会(湘南校舎他)
- 24日(土) 2時限授業 冬期休暇前諸注意・大掃除(3・4時限)
- 26日(月) 冬期講習(～28日)
- 28日(水) 吹奏楽部定期演奏会(中等部)
- 29日(木) 年末年始休暇(～1/5日)

- 1日(日) **元日**
- 6日(金) 新春懇親会(新高輪プリンスホテル) 吹奏楽部定期演奏会(高校)
- 7日(土) 朝礼 短縮授業
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑥(中等部) (プレテスト実施)
- 9日(月) **成人の日**
- 10日(火) 校医相談日⑨
- 17日(火) 木曜日の授業日
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(木) 生徒自宅学習日(1/22分)
- 20日(金) 日本漢字能力検定試験(希望者)
- 21日(土) 高校推薦入試準備(4限カット)
- 22日(日) **高校推薦入学試験**
- 23日(月) 高校推薦入学試験合否発表 生徒による授業評価アンケート④
- 25日(水) 特別時程(高校、中1・2:～27日) **卒業試験(中3:～27日)**
- 30日(月) 生徒自宅学習日(2/5分)
- 31日(火) **特別講座終了(高3)**

### 編集後記

先月、中等部2年生を対象にベビー用品メーカーのピジョン株式会社による出前授業を行いました。妊婦ジャケットを装着して靴ひもを結び直したり、狭い通路でベビーカーを押したりしました。事前の打ち合わせで男子生徒のほうが多い学校であることを先方に伝えたところ、むしろ男性にこそ体験・学習してほしいとのこと。港区芝浦にある港区立男女平等参画センターの愛称“リーブラ”はラテン語で「天びん」を意味する語ですが、男も女も(この言い方からして男性優位に感じられるのですが)同じ重さであるべきだ、と改めて感じた瞬間でした。(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/